農業高校生が家畜人工授精技術の一端を学ぶ

畜産技術部(畜産試験場)
平成20年10月2日

9月30日に、県立山口農業高校生物生産科３年生の生徒16名が農林総合技術センター畜産技術部で先進技術の研修を行いました。

今回の研修は、「動物・微生物バイオテクノロジー」授業の一環として行われたもので、家畜人工授精における採精から凍結までの作業工程を学習して、より専門的な技術を用いた家畜繁殖技術に関する知識を深めるために行われたものです。

16名の生徒の中には、国・私立大学の農学部や農業研修部(農業大学校)への進学を希望している生徒も見られ、当部の専門研究員からの凍結過程等の説明を熱心に聞き入っていました。

畜産技術部は、今後も、畜産関係者の育成に出来る限り協力をする事としており、今回の視察研修を受講した学生から、すばらしい畜産指導者が育つ事を期待して止みません。

緊張感にあふれた採精現場

凍結過程の説明を聞く生徒